

2025-2次

受験番号

--

大学院保健学研究科保健学専攻博士前期課程

大学院パブリックヘルス学環修士課程

小論文問題

注意事項

1. 試験開始の合図があるまで、この冊子を開かないでください。
2. この冊子の本文は3ページです。
3. 解答は解答用紙に書いてください。なお、落丁、乱丁及び印刷不鮮明などの箇所がある場合には申し出てください。
4. 解答にあたっては次の点に留意してください。
 - (1) 解答用紙の指定された箇所に書いてください。
 - (2) 文字はわかりやすく、横書きではっきり書いてください。
5. 試験時間は60分です。
6. 答案は持ち帰ってはいけません。
7. 問題用紙と下書き用紙は持ち帰ってください。

図1～3は日本人の血圧に関する事象の推移を示したものであり、図4は2020年に示された人の生涯にわたる認知症のリスク因子とその影響の大きさを表したものである。以下の問1～4に答えなさい。

図1 日本の60代の高血圧有病率の年次推移（1980-2016年）
（血圧値140/90 mmHg以上または降圧薬服用者の割合）

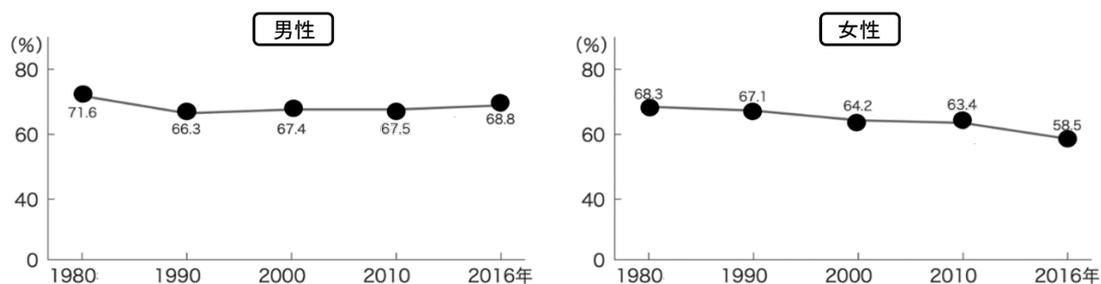


図2 日本の60代の高血圧治療率の年次推移（1980-2016年）
（高血圧者のなかで降圧薬服用者の割合）

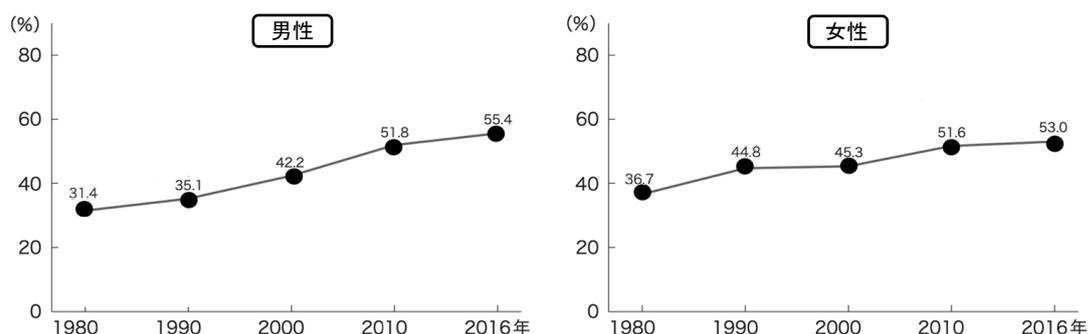
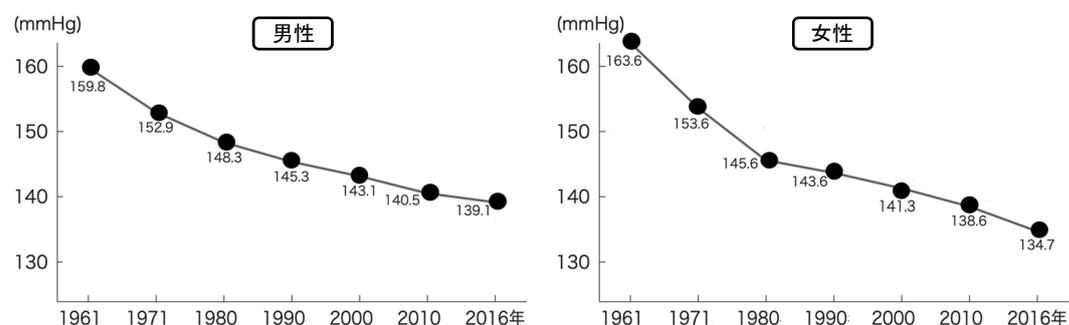
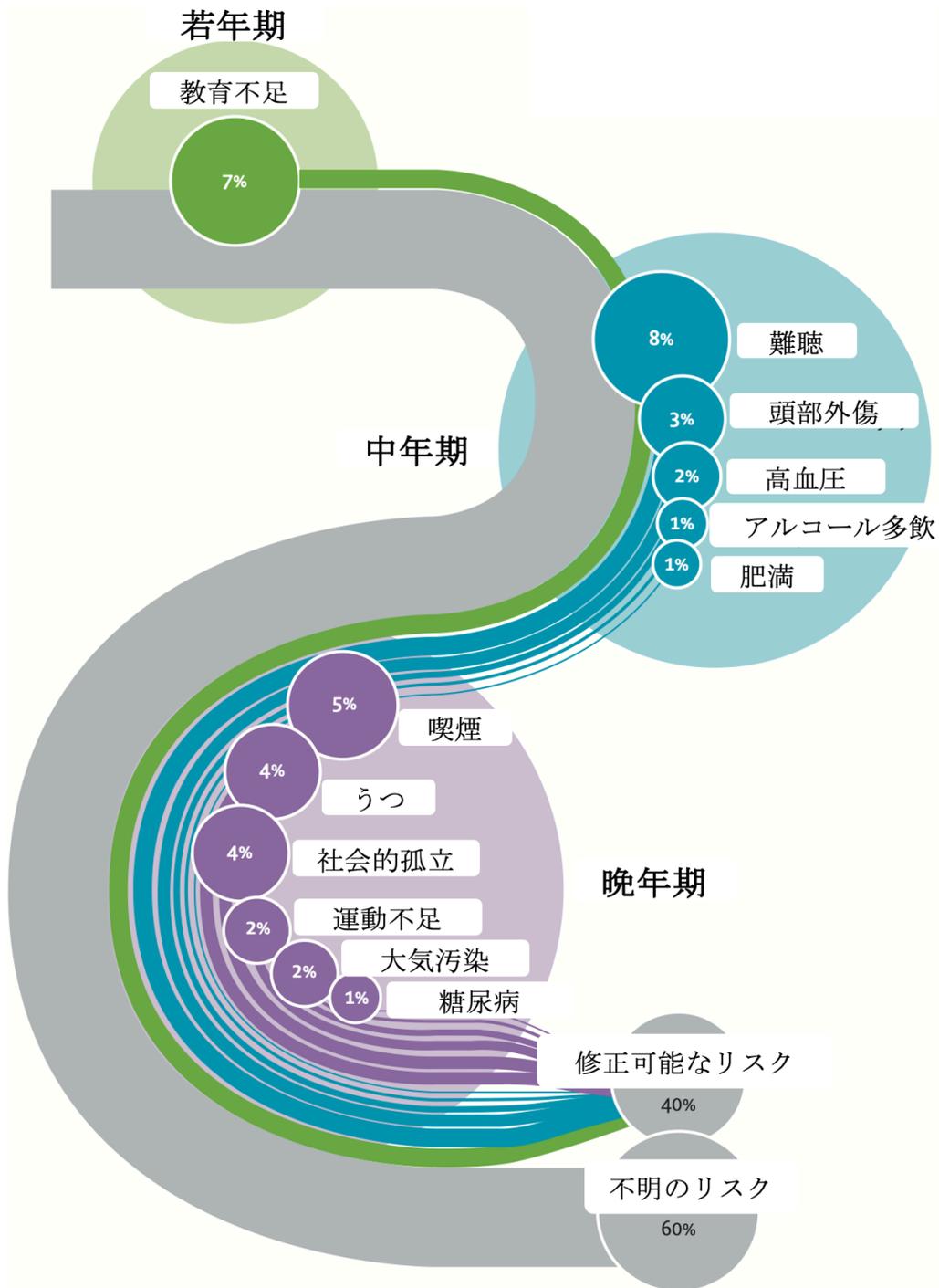


図3 日本の60代の収縮期血圧平均値の年次推移（1961-2016年）



出典：高血圧治療ガイドライン2019（発行 日本高血圧学会）より一部抜粋して改変

図4 認知症の12のリスク因子とその影響の大きさ
 数字 (%) はこれらのリスク因子がなくなった場合の認知症有病率の減少率を示す



出典 : Livingston G *et al.* Dementia prevention, intervention, and care: 2020 report of the *Lancet* Commission. *Lancet*. 2020, 396 (10248): 413-446. より引用・一部改変

- 問1 図1～3からわかることを150字程度で述べなさい。
- 問2 図3の結果は今後の認知症患者数に対してどのような影響を及ぼすと考えられるか。図4に基づき100字程度で述べなさい。
- 問3 図4によれば難聴は中年期の認知症の大きなリスク因子であることがわかる。難聴が認知症発症のリスク因子となる理由について、あなたの考えを200字程度で述べなさい。
- 問4 図4の晩年期の認知症リスク因子に対して、あなたが考える対策について、250字程度で述べなさい。